



第1背鰭の後方に暗色斑は無く、波形の縞模様が視られる。坂井市三国町産 全長:約13cm

ハゼ科 ウキゴリ属 【最大全長】約15cm前後

## スミウキゴリ

学名: *Gymnogobius petschiliensis*

**分布域** ほぼ日本全国に分布する。

**生息域** 河川の下流～河口域に生息。  
流れの緩やかな場所を好む。



産卵期のメスは腹部は黄色く。

ウキゴリと似るがやや細身で全長は大きくなる。第1背鰭の後端に黒色斑は無く、外縁が赤く縁取られ識別は容易。成熟したオスは頭部が著しく縦扁する。生息環境は汽水域や河川下流域の泥底～砂礫底部などに広く生息する。ウキゴリと混生する場所も多い。県内での生息地・生息数とも少なくはない。食性は動物食性で水生昆虫を中心に底生動物や甲殻類・小魚を食べる。産卵期は5～6月で産卵行動はウキゴリと同じ。

水槽での飼育は容易。飼育水は淡水～海水比10%前後の汽水を用いる。餌は活きた甲殻類(エビ)や小魚を与える。丈夫で環境にも慣れ、飼い易い。ウキゴリとの混泳や複数飼育にも問題ない。

**在来種**

**回遊魚**

※ 近縁のウキゴリとは混生する場所もみられる。生息環境はウキゴリほどは広くなく、汽水域を大きく離れることはないようだ。最大全長は18cmに達する。